

# 平成17年度決算の状況



昨年度の実際のお金の動きから、市のお金の仕組みを見ていこう!

歳入から歳出を引いた収支は、36億円の黒字となりました。歳入については、市税や地方交付税などが予算額を上回り、歳出については、できる限り節約したことから、予定していた財政調整基金(市の貯金)を使わずに済みました。

## 一般会計

**歳入総額**  
**7,918億円**

前年度比148億円(1.8%)減

**33.0%** **市税** **2,611億円**  
市民税、固定資産税、都市計画税など

市民1人当たり14万円

**16.0%** **国庫支出金** **1,265億円**  
国が必要だと認めた事業に対して、国が市に配分するお金

**15.7%** **諸収入** **1,242億円**  
貸したお金の返済金や、宝くじの収益金など

**14.2%** **地方交付税** **1,128億円**  
支出に対して収入が不足する場合に、国が一定のルールに従い配分するお金

**7.9%** **市債** **623億円**  
施設を造るときなどに借るお金

**13.2%** **そのほか** **1,049億円**  
国や道が市の代わりに集めた税金や、ごみ処理の手数料など

差し引き  
36億円から  
7億5,000万円を  
貯金へ  
回しました。

新築の家が増えたことで固定資産税が増えるなど、前年度に比べ29億円増加しました。

自閉症者の自立や子育てを支援する施設を建設したほか、生活保護世帯が1,412世帯増えたことから、前年度に比べ55億円増加しました。

この5年間で1人当たりの給与費は約70万円減少しています。

公共事業の見直しを進め、前年度に比べ128億円減少しました。

できるだけ新たな借金を減らし、前年度に比べ発行額は107億円減少しました。

**歳出総額**  
**7,882億円**

前年度比147億円(1.8%)減

市民1人当たりのサービス42万円

**25.2%** **保健福祉費** **1,989億円**  
医療、福祉、保健などに関するお金

**16.0%** **諸支出金** **1,260億円**  
特別会計や企業会計の運営を補助するお金など

**13.2%** **職員費** **1,038億円**  
市の職員の給料や退職金など

**12.2%** **公債費** **959億円**  
施設を造るときなどに借ったお金の返済金

**11.9%** **土木費** **936億円**  
道路や公園などを整備するお金

**10.4%** **経済費** **822億円**  
産業を育て、札幌を元気にするためのお金

**11.1%** **そのほか** **878億円**  
ごみ処理や教育に関するお金など

## 特別会計

2つの会計で、赤字となりました。また、公共用地先行取得会計と交通災害共済会計は、その役割を終えたため廃止し、残高は一般会計へ引き継ぎました。

### ●国民健康保険会計

保険料収入の減少などによる不足。なお、17年度末の累積赤字は101億円となっています。

### ●老人医療会計

国庫支出金の減少などによる不足。

区分	歳入	歳出	差引残高額
土地区画整理	81億円	81億円	0円
団地造成	1億円	1億円	0円
駐車場	3億円	3億円	0円
母子寡婦福祉資金貸付	3億円	2億円	1億円
国民健康保険	1,771億円	1,778億円	-7億円
老人医療	1,759億円	1,777億円	-18億円
介護保険	795億円	789億円	6億円
基金	10億円	9億円	1億円
公共用地先行取得	16億円	16億円	2,000万円
砂防用地先行取得	5億円	4億円	3,000万円
交通災害共済	1億円	0円	1億円
公債	4,437億円	4,437億円	0円